

南丹市
地域福祉計画・地域福祉活動計画
策定のためのアンケート調査結果
報告書（福祉団体）

平成29年2月

南丹市

目 次

I	調査の概要	1
1.	調査の目的	1
2.	実施方法	1
3.	配布・回収状況	1
4.	調査結果の見方	2
II	調査結果	3
問1	団体が活動を始めたきっかけ、いきさつ（MA）	3
問2	団体が取り組んでいる地域活動の分野（MA）	3
問3	団体の活動地域（範囲）（S A）	4
問4	団体が地域活動を行ううえでの課題（MA）	4
問5	地域活動の活性化の為今後取り組みたい事（MA）	5
問6	地域福祉の推進に今後必要と考える事（MA）	5
問7	自由記述の有無（S A）	6

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、平成 30 年度を初年度とする「第3期南丹市地域福祉計画」と社会福祉協議会の「地域福祉活動計画」を一体的に策定するにあたり、地域福祉にかかわる団体を対象に、福祉活動等の実態やご意見をアンケート調査により把握させていただき、計画策定の基礎資料とするために実施したものです。

2. 実施方法

- 1) 調査地域 : 南丹市全域
- 2) 調査基準日 : 平成 28 年 10 月 1 日
- 3) 調査対象者 : 市内のボランティア団体等
- 4) 調査実施時期 : 平成 28 年 10 月下旬～11 月 7 日
- 5) 配布・回収方式 : 郵送による配布・回収

3. 配布・回収状況

調査票の配布と回収の状況は次のとおりです。

	配布数
配布数	116 票
回収数	81 票
回収率	69.8%

4. 調査結果の見方

- ◇ 設問ごとにその設問内容を示すタイトルを付けている。
- ◇ タイトルの横には、次の質問形態を並べている。
 - ・質問形態 (SA=単数回答、MA=複数回答、FA=文字記述回答)

SA=単数回答 : 「1つに○」など選択肢を1つ選ぶ質問形態

MA=複数回答 : 「あてはまるものすべてに○」「○は3つまで」など 2つ以上の選択肢を選ぶことができる質問形態

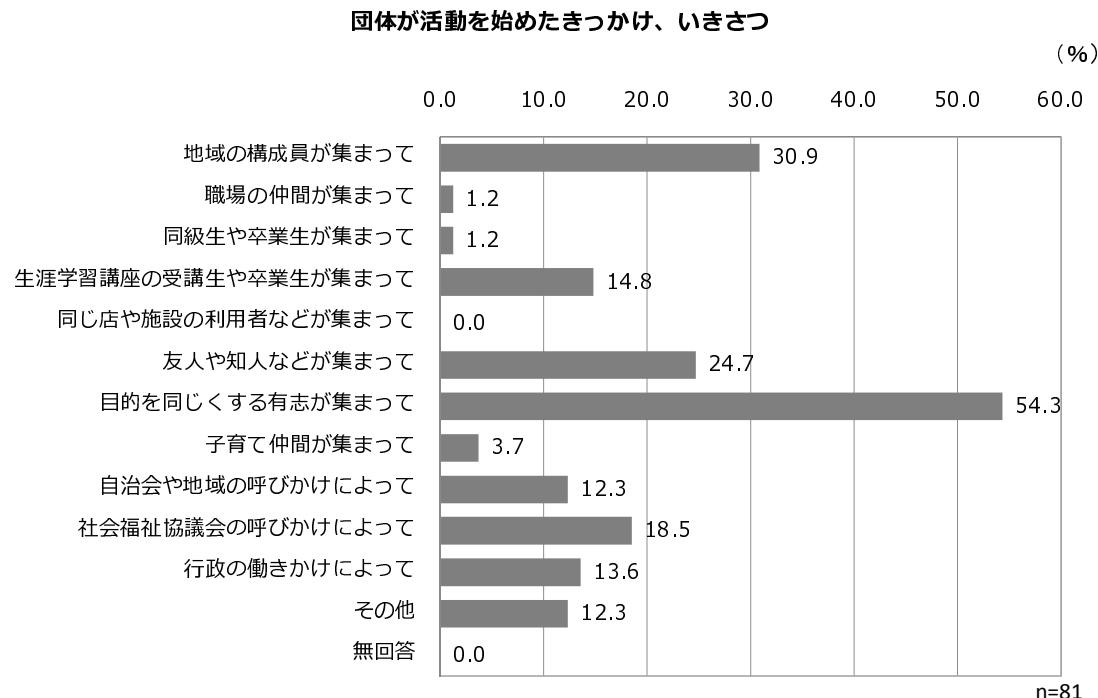
FA=文字記述による回答

- ◇ グラフにおける“n”は、当該設問に回答すべき者（回答対象者）の人数を示している。
- ◇ 集計結果のグラフ・表における“無回答”は、当該設問への無回答の他、回答規則違反（例えば、単数回答の設問における複数回答など）の件数（票数）を示している。
- ◇ 数表やグラフにおいては、原則として各集計数の総回答対象者数に対する比率を表示している。
- ◇ 集計は、小数点第2位以下を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合がある。
- ◇ 各設問の選択肢等について、その意味を損なわない程度に表現を簡略化している場合がある。

II 調査結果

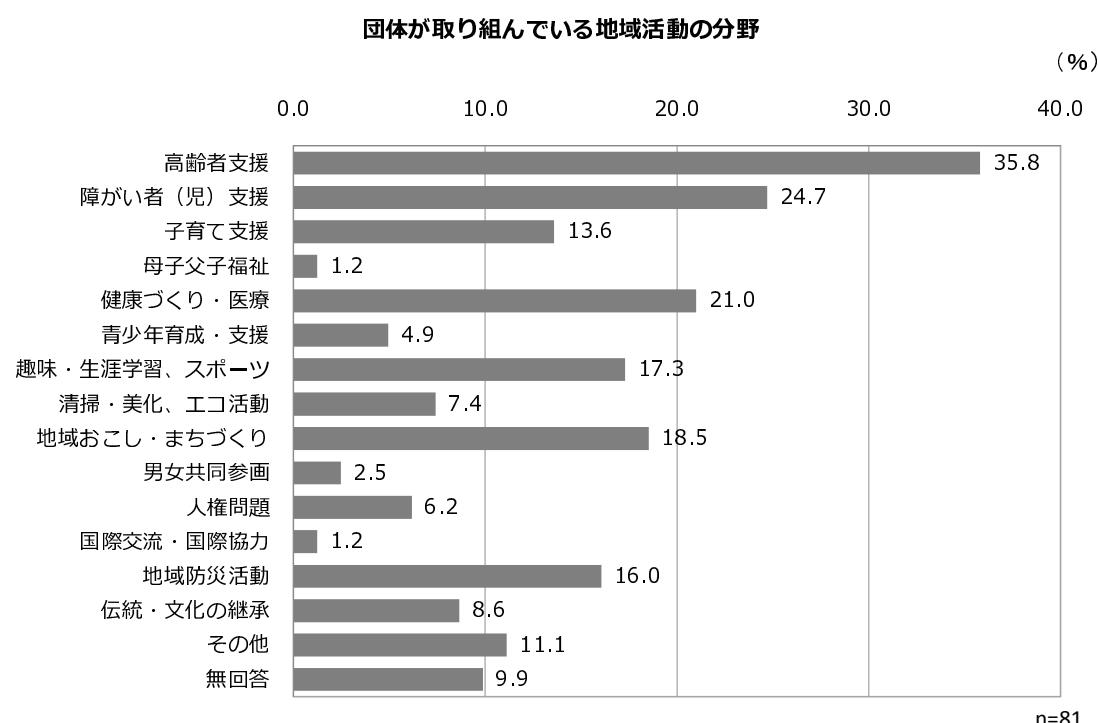
問1 団体が活動を始めたきっかけ、いきさつ（MA）

- 「目的を同じくする有志が集まって」が54.3%で最も多く、次いで「地域の構成員が集まって」が30.9%、「友人や知人などが集まって」が24.7%の順となっています。



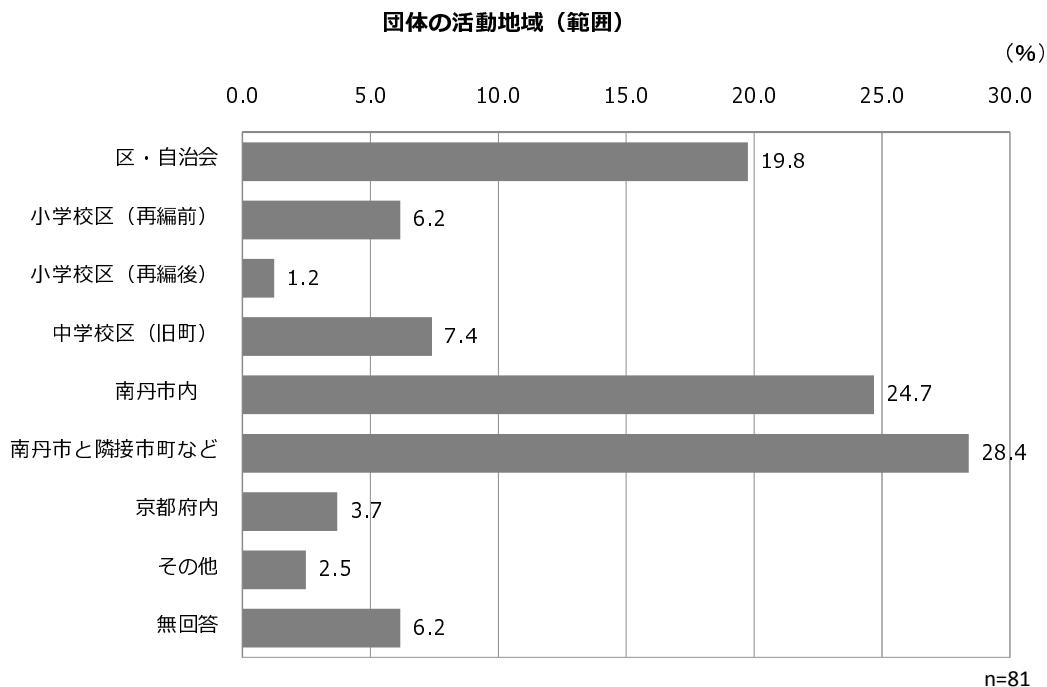
問2 団体が取り組んでいる地域活動の分野（MA）

- 「高齢者支援」が35.8%で最も多く、次いで「障がい者（児）支援」が24.7%、「健康づくり・医療」が21.0%の順となっています。



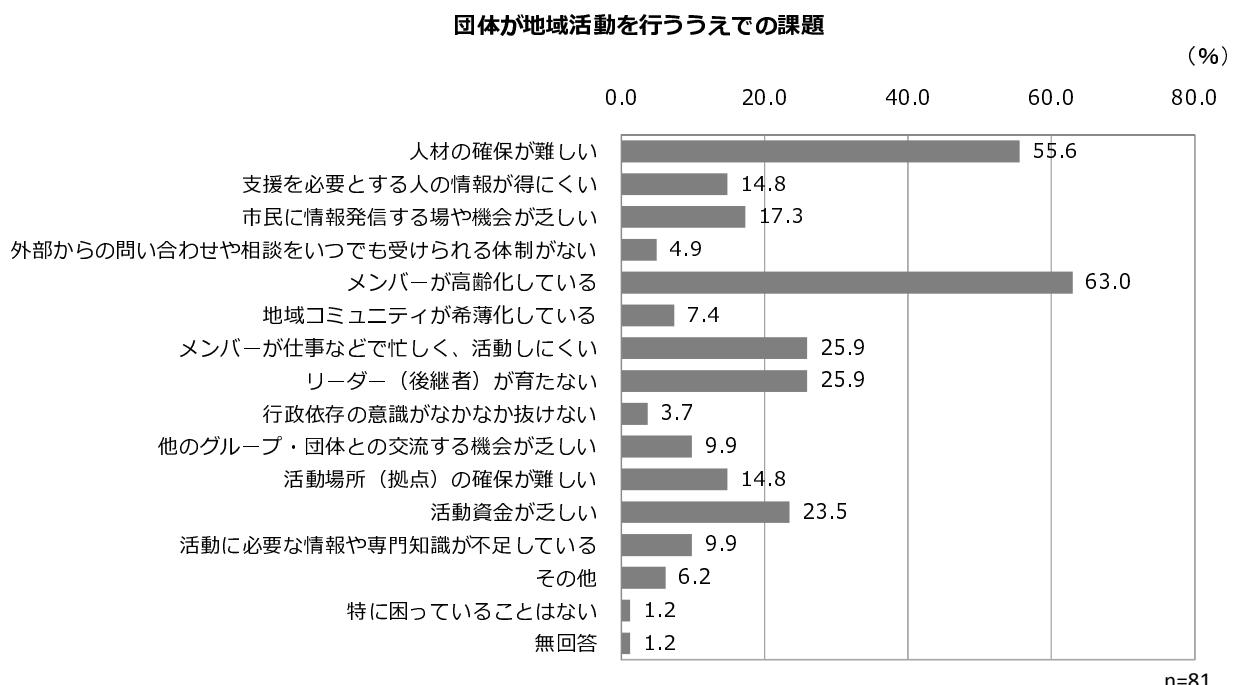
問3 団体の活動地域（範囲）（S A）

- 「南丹市と隣接市町」が28.4%で最も多く、次いで「南丹市内」が24.7%、「区・自治会」が19.8%の順となっています。



問4 団体が地域活動を行ううえでの課題（M A）

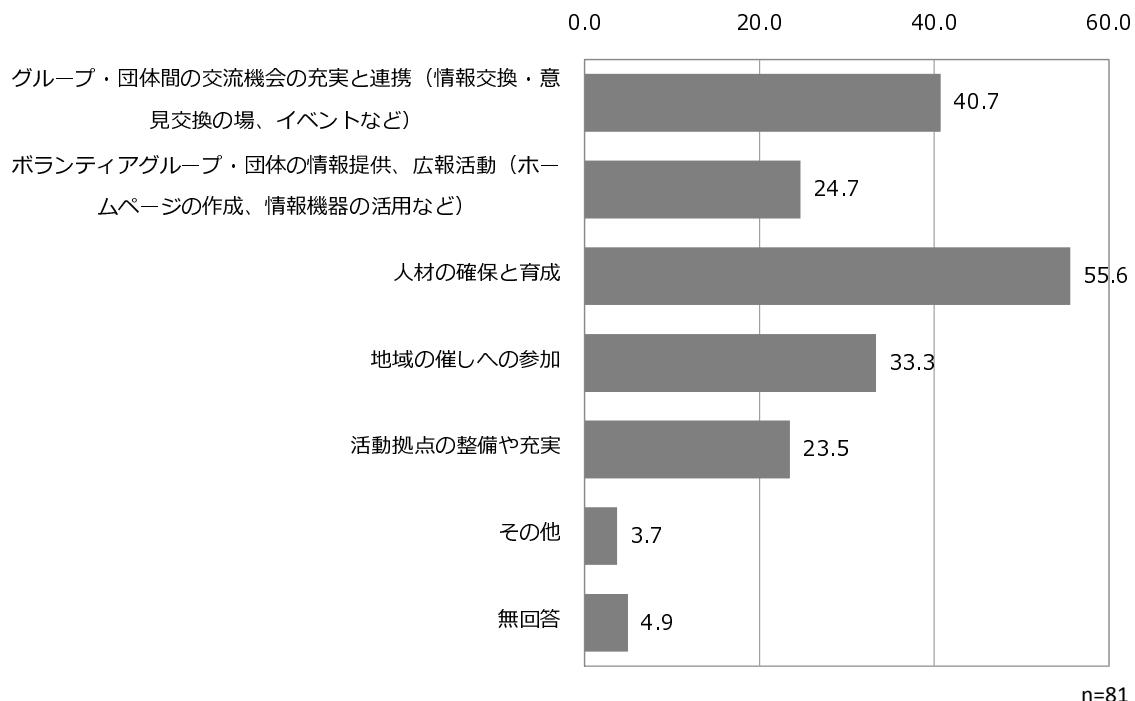
- 「メンバーが高齢化している」が63.0%で最も高く、次いで「人材の確保が難しい」が55.6%、次いで「メンバーが仕事などで忙しく、活動しにくい」「リーダー（後継者）が育たない」が25.9%の順となっています。



問5 地域活動の活性化の為今後取り組みたい事（MA）

- 「人材の確保と育成」が55.6%で最も多く、次いで「グループ・団体間の交流機会の充実と連携（情報交換・意見交換の場、イベントなど）」が40.7%、「地域の催しへの参加」が33.3%の順となっています。

地域活動の活性化の為今後取り組みたい事

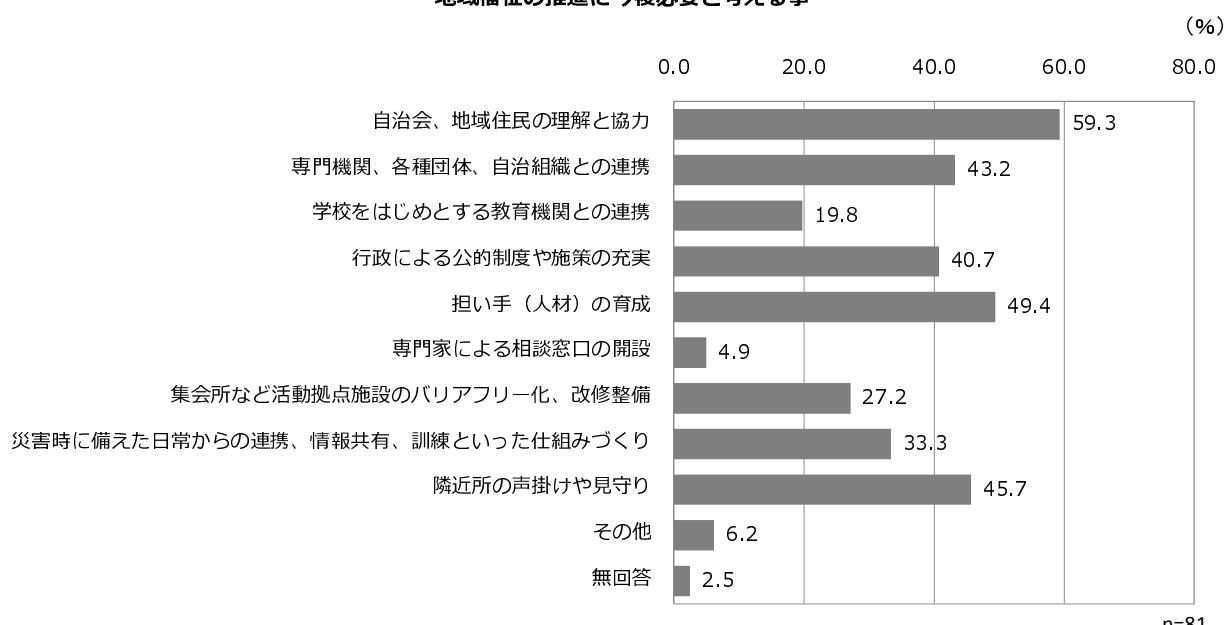


n=81

問6 地域福祉の推進に今後必要と考える事（MA）

- 「自治会、地域住民の理解と協力」が59.3%で最も多く、次いで「担い手（人材）の育成」が49.4%、「隣近所の声掛けや見守り」が45.7%の順となっています。

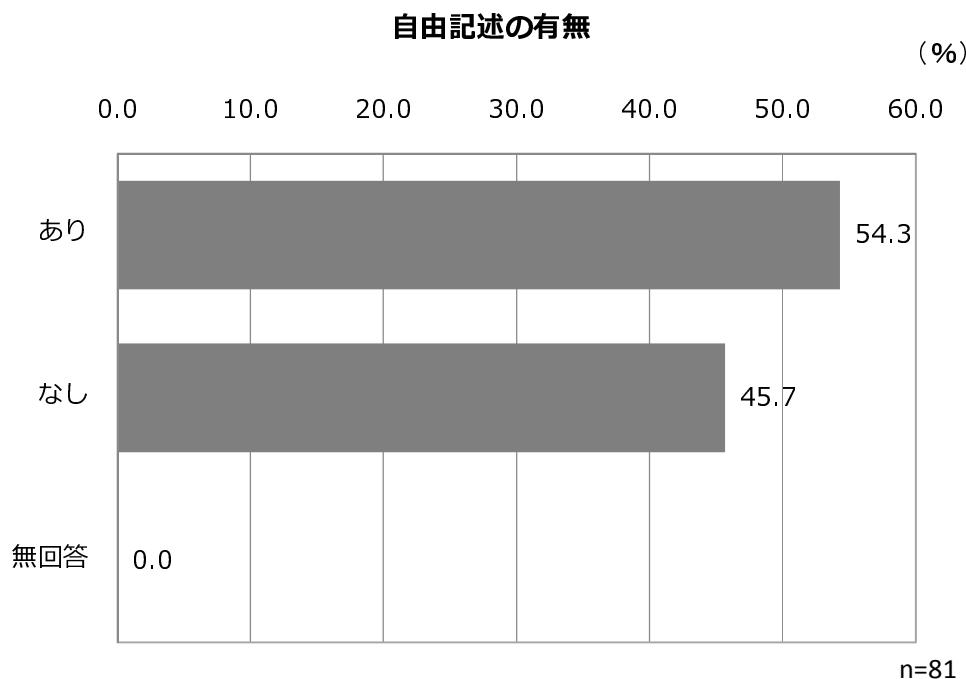
地域福祉の推進に今後必要と考える事



n=81

問7 自由記述の有無（S A）

- 「あり」が54.3%、「なし」が45.7%となっています。



ご意見、ご提案など（F A）

- ・自由記述については、44 団体から 49 件の意見がありました。意見分類ごとの意見数と主な意見は以下のとおりです。

意見内容	件数
行政への要望	11
<ul style="list-style-type: none"> ・サークル等が共用できるボランティアルームが必要。 ・高齢化が進展する現状を踏まえ、行政が高齢者の意識を変えるような取り組みが必要。 	
防災関連	5
<ul style="list-style-type: none"> ・“もしも”の時に迅速に的確な行政の対応をしていただける様に望みます。 ・市消防団と各地区の消防協力隊との一体化が必要になる。 ・地域の住民の皆さんも有事の際の対応の勉強会が必要だと思います。 	
地域福祉	5
<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの地域の中で老人クラブの果たす役割は増すと思います。自らの健康づくりと共にその上で元気な者は、小さな事でもささやかであっても支える側の立場に立ち、お役にたてる老人クラブを目指すべきと考えています。 ・行政や公的制度に頼り過ぎずに、隣人、知人、集落内での助け合いででも充分満足感が得られ、楽しく暮らせます。そんな結びつき、思いやりの心を育てるため、身近な集落のサロンなどで、話し合うのも一策かも。 	
教育・啓蒙・広報	4
<ul style="list-style-type: none"> ・この様な活動をしている「会」があることを、南丹市の広報で折につけ知らせて頂ければ有難いです。 ・各自が自己啓発に取り組み、意識を高める。 	
人口減少	4
<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化社会を乗り切る為の施策、支援活動の強化が重要課題である。行政、府からの指導・支援は、更に強固なものが必要となる。 ・若い人が定住する町おこし 	
まちづくり	3
<ul style="list-style-type: none"> ・障害の有無に拘わらず、視覚的な情報保障がいつどこでも守られるようなまちづくりを望む。 ・公的な施設（各地域の集会場等）のバリアフリー化をお願いします。 	
その他	17
<ul style="list-style-type: none"> ・小さな声を拾って下さい。 ・高齢者に限らず、青年や中年でも（職場以外）つながるところを持っていれば「ひとりぼっち」ではなくなると思う。 ・今後団員も協力隊も高齢化が進み、大変厳しい状況になりますが、地域防災、地域の発展の為に貢献できればと考えています。 	